



シェケム（ゲリジム山、エバル山）

シェケム、エルサレム、ベテル、シロ。シェケムという場所が大切な場所として何度か出てきますけれど、シェケムという場所は、ゲリジム山とエバル山の間にある谷の場所です。

このシェケムが最初に出てくるのが、アブラハムが神様に(創12:1~)「その国を受けて父の家を離れてカナンに行きなさい。あなたを祝福する者を私は祝福し、あなたを呪う者を私は呪うという祝福の基となる。」と言われた約束に従って、最初にカナンに来た時に祭壇を築くところです。シェケム、モレの榿の木のところでは祭壇を築きましたというのがアブラハムの救いのストーリーの出だしです。その出だしの場所がシェケムですから、そのスタート地点からこの場所を与えると言った場所を与えられたという最後のところがヨシュアの最後のことばです。ここで一度、完成している。このアブラハムの約束は、地を与えるということは、ここで完成しているということが分かるような場所になっています。

このアブラハムに約束した約束の出来事、「あなたはその国を出て父と母の家を離れて」という箇所は創世記12章にありますけれど、次に出てくるのが、ヨシュア記24章のヨシュアの最後。部族を集めて話している中で民に言うところです。主がこう言いましたというこの主が言っている出だしのところは、創世記の12章を引用しているということですので、このアブラハムから始まってヨシュアの相続地を得たというところの完成だというのがよく分かります。ここ(ヨシュア24:2-)がストーリーの出だし、導きの出だしですよということが分かるものです。興味深いことに、新しい天と新しい地のスタートということでしょうけれど、使徒行伝の7章でステパノが証言するという長いストーリーがあります。この長いストーリーの出だしも、同じこの創世記の12章のところから始まっています。使徒行伝7章の途中には、シェケムにヤコブが葬られたということも書かれています。ですから、このシェケムという場所が大切だということが分かると思います。そこから始まったシェケムという場所だったのですけれど、特に大切なのが、申命記の11章、27章。

ここにゲリジム山とエバル山が出てきます。神様の命令を与えられました。「その命令に聞き従うならば祝福を与えられます。従わないならば呪いです。」という時にこの二つの山が出てきます。これが11章。27章にももう一度出てきて、「約束の地に入ったならば、エバル山に石を立てて、祭壇を築きなさい。」と言われてるところが27章で出てきます。ゲリジム山にこの1、2、3、4、5、6部族が立って、祝福の言葉を言い、1、2、3、4、5、6と、もう片方の6部族がエバル山に立って呪いを言う。それで「民はみなアーメンと言え」と言って「アーメン」という箇所です。それが申命記27章。28章には「守り行うならば、祝福という祝福の椅子」と。その後「聞き従わず守らないならば、呪い」という呪いの箇所というのが続きます。

(申命記30:15)それで「私は、きょう、命と善、死と悪をあなた方の前に置きます。命を選んでその約束を果たしなさい。」と言って31章、32章、33章、34章と申命記が進んでいきます。この出だしのところにエバル山、ゲリジム山の話があるわけです。

申命記は大きく4段落に分かれてるのですが、出だしの1章から11章までと真ん中の民の話が民が守るべき具体的な律法についての12章から26章までと、26章16節から最

後(34章)まで。最初と最後のところが似ているというところなんですが、「恐れるな聞きなさい(1~12章)」「聞き従って雄々しくあれ(26:16-34章)」というこの二つ出だしと終わり。この出だしの最後(11章)のところに、ゲリジム山とエバル山という箇所があります。最後の聞き従うならという出だし(27章)のところに、またエバル山、ゲリジム山ということが出てきますので、この聞き従うという「聞き従って祝福を得る。聞き従わないなら呪われる。」ということが、この申命記の全体の概略の大切な部分になっているということで、11章と27章にありますということです。

それで約束の地にいよいよヨシュアが導いて入りましたと言ったところ、ヨシュア記8章ですね。それで約束の通りにエバル山に祭壇を築きます。石の祭壇ですと自然のままというのは、この申命記27章で言われた通りにやっていますということです。それで「半分はエバル山、半分はゲリジム山と言って律法の書に書かれてることを行いました」という約束の家に入った時と言われているところです。

それで、その後も戦って歩いていくわけですけど、それで最後のヨシュアの死ぬところ老人になったところの23章で祝福と呪いについて話すと。その誓いについては24章です。おそらくこれは、エバル山ゲリジム山にも人がいっぱいいるでしょうね。その場所に集まってこの誓いをしてるところで、この祝福と呪いの誓いというのがそこまで来ますね。その後、申命記の30章からの後で、残念なことになりますね。ヨシュアが死んで時代が変わります。

サムエルがいて、ダビデがいてということなんですが、その約束の地の中で、さらにダビデの約束が与えられ、ソロモンが神殿を建てます。ソロモンは神殿を建てているその目的は「主が共にいてくださるからだ」ということで歩んできたにも関わらず、残念なことはこの最後、「ソロモンは年老いた時」という第1列王記11章です。ソロモンが年老いた時どうなったかという、外国人の女たちとたくさん結婚してしまった。「あなた方は彼らと交わってはならない。彼らもあなたがたと交わってはならない。彼らは必ずあなた方の心を転じ、彼らの神々に従わせるからである。」というこの箇所です。

そして年老いた時に、実際に他の神々を拝むことになってしまったということは、残念なヨシュアに言われた23章の祝福と呪いの箇所を実際に行なってしまったというのがソロモンの年老いた最後のところです。

この時はエルサレムの神殿なのでですけど、モーセの天幕は、ヨシュアの時はシロにあったんですね。シロはエルサレムの間みたいな場所ですね。何十万人っていう人達が移動していますのでどのぐらいの場所に入るのかよく分かりませんが、シロかシェケムまでが15キロぐらいみたいですから、それだけの人数ですので、かなりこの辺に広く集まっているということなのかなと思いますけど、シェケムとシロがそんなに遠いっていう場所ではないということも言えるのかもしれません。

シロに集まっている。そのシロの天幕が捨てられたというところからダビデの話が始まりますよね。エルサレムの天幕が裁かれて神殿が作られたのに、また同じようにやってしまったというところに、このソロモンの出来事が記録されているというようにつながっていきますので、この(アブラハム、ダビデ契約の流れの表)最初のシェケムで(アブラハム、カナンの地へ)、途中でまた(モーセの最後)、この辺で、そのシェケムの場所で誓いをする。シェケムの場所で誓いをする(ヨシュアの最後)というようなことで流れている。

神様を礼拝する者の約束を守るかどうか、聞くかどうかということが、ずっと連携しずっと続いていく中で、特にこの神様から相続を受けるという約束。契約を与えられ

るというのは相続の約束ですよ。それで、それぞれのリーダーが死ぬ時になり、祝福を相続する。でも、「守らないなら呪われますよ」という言葉もつけて相続していくということが、同じことが繰り返し言われてるというような感じだと思いますけれど、そのようにつながってきていますので、福音書の中で同じように「命令を守るなら聞き従いなさい」ということがずっと言われています。

ヨハネ福音書の21章、最後のところでペテロがイエス様に「わたしを愛しますか」と言って「私の羊を飼いなさい」と言われますけれど、「私に仕え、私の兄弟たちに仕えなさい」ということを3度言いますので、このヨシュアの最後のところ、24章で「主に仕えます」と3回聞き従って、主に仕えますという誓いをするところにも似ているのかなと思います。神様の御声に聞き従う。ずっと羊飼いですね。アブラハムもイサクもヤコブもモーセも、ずっと羊飼いが導いている導き。相続の神様から民への相続という意味での契約、父たちから子らへの相続のことばの連携の中で「シェケム」という場所が特に目立ちましたので、その場所を見てみました。



命を愛べ!

命と良 死と悪

約束の地に入った時

申命記 30

15 見よ、私は、きょう、命ときよいわい、および死と悪をあなたの前に置いた。

16 すなわち私は、きょう、あなたにあなたの神、主を愛し、その道に歩み、その戒めと定めと、おきてを守

らえ、その数は多くなるであろう。またあなたの神、主はあなたが行つて取る地であなたを祝福されるであろう。

17 しかし、もしあなたが心をそむけて聞き従わず、誘われ

て他の神々を拝み、それに仕えるならば、

18 私は、きょう、あなたがたに告げる。あなたがたは必ず滅びるであろう。あなたがたはヨルダンを渡り、はい

つて行つて取る地でなく命を保つことができないであろう。

19 私は、きょう、天と地を呼んであなたがたに対する証人とする。私は命と死および祝福とのろいをあなたの前に置いた。あなたは命を選ばなければならぬ。そうすればあなたとあなたの子孫は生きながらえることができるであろう。

20 すなわちあなたの神、主を愛して、その声を聞き、主に

つき従わなければならない。そうすればあなたは命を得、かつ長く命を保つことができ、主が先祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた地に住むことができるであろう。

ヨシヤ記 1

7 ただ強く、また雄々しくあつて、私のしもべモーセがあなたに命じた律法をことごとく守つて行い、これを離れて右にも左にも曲つてはならない。それはすべてあなたが行くところで、勝利を得るためである。

8 この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守つて行わなければならない。そうすること

ば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得るであろう。

ヨシヤ記 8

30 そしてヨシヤはエバル山にイスラエルの神、主のため

に一つの祭壇を築いた。

31 これは主のしもべモーセがイスラエルの人々に命じたことにもとづき、モーセの律法の書にしるされているように、鉄の道具を当てない自然のままの石の祭壇であつて、人々はその上で、主に燔祭をささげ、酬恩祭を供えた。

32 その所で、ヨシヤはまたモーセの書きしるした律法を、イスラエルの人々の前で、石に書き写した。

33 こうしてすべてのイスラエルびとは、本国人も、寄留の他国人も、長老、つかさびと、さばきびとと共に、主の契約の箱をかくレビびとである祭司たちの前で、箱のこなたとかなたに分れて、半ばはゲリジム山の前に、半ばはエバル山の前に立った。これは主のしもべモーセがさきに命じたように、イスラエルの民を祝福するためであつた。

34 そして後、ヨシヤはすべての律法の書にしるされている所にしたがつて、祝福と、のろいとに関する律法の言葉をことごとく読んだ。

35 モーセが命じたすべての言葉のうち、ヨシヤがイスラ

ヨシヤ 24:

エル的全会衆および女と子どもたち、ならびにイスラエルのうちに住む寄留の他国人の前で、読まなかつたものは一つもなかつた。

ヨシヤ記 13

1 さてヨシヤは年が進んで老いたが、主は彼に言われた、「あなたは年が進んで老いたが、取るべき地は、なお多く残つている。その残つている地は、次のとおりである。ペリシテびとの全地域、ゲシュルびとの全土、

2 その残つている地は、次のとおりである。ペリシテびとの全地域、ゲシュルびとの全土、

3 その残つている地は、次のとおりである。ペリシテびとの全地域、ゲシュルびとの全土、

ヨシヤ記 21

43 このように、主が、イスラエルに与えると、その先祖たちに誓われた地を、ことごとく与えられたので、彼らはそれを獲て、そこに住んだ。

44 主は彼らの先祖たちに誓われたように、四方に安息を賜

わつたので、すべての敵のうち、ひとりも彼らに手向かう者はなかつた。主が敵をことごとく彼らの手に渡されたからである。

45 主がイスラエルの家に約束されたすべての良いことは、一つとしてたがわず、みな実現した。

列王記第一 8

54 ソロモンはこの祈と願いをことごとく主にささげ終ると、それまで天に向かつて手を伸べ、ひざまずいていた。主の祭壇の前から立ちあがり、

55 立つて大声でイスラエルの全会衆を祝福して言つた、「主はほむべきかな。主はすべて約束されたように、その民イスラエルに太平を賜わつた。そのしもべモーセによつて仰せられたその良き約束は皆一つもたがわなかつた。

57 われわれの神がわれわれの先祖と共におられたように、われわれと共におられるように。われわれを離れず、またわれわれを見捨てられないように。

58 われわれの心を主に傾けて、主のすべての道に歩ませ、われわれの先祖に命じられた戒めと定めと、おきてとを守らせるように。

59 主の前に私が述べたこれらの願いの言葉が、日夜われわれの神、主に覚えられるように。そして主は日々の事に、しもべを助け、主の民イスラエルを助けられるように。

60 そうすれば、地のすべての民は主が神であることと、他に神のないことを知るに至るであろう。

61 それゆえ、あなたがたは、今日のようにわれわれの神、主に対して、心は全く真実であり、主の定めに歩み、主の戒めを守らなければならない。

列王記第一 9

1 ソロモンが主の宮と王の宮殿およびソロモンが建てよう

と望んだすべてのものを建て終つた時、

2 主はかつてギベオンでソロモンに現れたように再び現れて、

3 彼に言われた、「あなたが、私の前に願つた祈と願いとを聞いた。私はあなたが建てたこの宮を聖別して、私の名を永久にそこに置く。私の目と、私の心は常にそこにあるであろう。

土地割当

ヨシヤ 18:

ヨシヤは天幕を建てた。

23:14 23:9

ヨシヤ 23:14

主が夢でソロモンに現れて

ヨ24:16 vs 主に仕えろ

- 4あなたがもし、あなたの父ダビデが歩んだように全き心をもって正しく私の前に歩み、すべて私が命じたようにおこなって、私の定めと、おきてを守るならば、
- 5私は、あなたの父ダビデに約束して『イスラエルの王位にのぼる人があなたに欠けることはないであろう』と言ったように、あなたのイスラエルに王たる位をながく確保するであろう。
- 6しかし、あなたがた、またはあなたがたの子孫がそむいて私に従わず、私があなたがたの前に置いた戒めと定めとを守らず、他の神々に行つて、それに仕え、それを行なうならば、
- 7私はイスラエルを、私が与えた地のおもてから断つであろう。また私の名のために聖別した宮を私の前から投げすてるであろう。そしてイスラエルはもろもろの民のうちにとわごととなり、笑い草となるであろう。
- 8かつ、この宮は荒塚となり、そのかたわらを過ぎる者は皆驚き、うそぶいて『なにゆえ、主はこの地と、この宮とにこのようにされたのか』と言うであろう。
- 9その時人々は答えて『彼らは自分の先祖をエジプトの地から導き出した彼らの神、主を捨てて、他の神々につき従い、それを拝み、それに仕えたために、主はこのすべての災を彼らの上に下したのである』と言うであろう。

ステパノの証言 = 主の証言 (ヨ24:2-13)

- 4そこで、アブラハムはカルデア人の地を出て、カランに住んだ。そして、彼の父が死んだのち、神は彼をそこから、今あなたがたの住んでいるこの地に移住させたが、
- 5そこでは、遺産となるものは何一つ、一步の幅の土地すらも、与えられなかった。ただ、その地を所領として授けようとの約束を、彼と、そして彼にはまだ子がかつたのに、その子孫とに与えられたのである。
- 6神はこう仰せになった、『彼の子孫は他国に身を寄せるであろう。そして、そこで四百年のあいだ、奴隷にされて虐待を受けるであろう』。

シ24

ソロモンは年老いた。女、神を

- 列王記第一 11
- 1ソロモン王は多くの外国の女を愛した。すなわちパロの娘、モアブびと、アンモンびと、エドムびと、シドンびと、ヘテびとの女を愛した。
- 2主はかつてこれらの国民について、イスラエルの人々に言われた、『あなたがたは彼らと交わつてはならない。彼らもまたあなたがたと交わつてはならない。彼らは必ずあなたがたの心を転じて彼らの神々に従わせるからである』。しかしソロモンは彼らを愛して離れなかつた。
- 3彼には王妃としての妻七百人、そばめ三百人があつた。その妻たちが彼の心を転じたのである。
- 4ソロモンが年老いた時、その妻たちが彼の心を転じて他の神々に従わせたので、彼の心は父ダビデの心のように、その神、主に真実でなかつた。
- 5これはソロモンがシドンびとの女神アシタロテに従い、アンモンびとの神である憎むべき者ミルコムに従つたからである。
- 6このようにソロモンは主の目の前に悪を行い、父ダビデのように全くは主に従わなかつた。
- 7そしてソロモンはモアブの神である憎むべき者ケモシのために、またアンモンの人々の神である憎むべき者モレクのためにエルサレムの東の山に高き所を築いた。
- 8彼はまた外国のすべての妻たちのためにもそうしたので、彼女たちはその神々に香をたき、犠牲をささげた。

↑
ヨ24:23: 7, 12

ヨ24:2-7

- 使徒行伝 7
- 1大祭司は「そのとおりか」と尋ねた。
- 2そこで、ステパノが言った、
- 3「兄弟たち、父たちよ、お聞き下さい。私たちの父祖アブラハムが、カランに住む前、まだメソポタミヤにいたとき、栄光の神が彼に現れて
- 4仰せになった、『あなたの土地と親族から離れて、あな

ヨ24:2

創世記 48

21 イスラエルはまたヨセフに言った、「私はやがて死にます。しかし、神はあなたがたと共におられて、あなたがたを先祖の国に導き返されるであらう。」

22 なお私は一つの分を兄弟よりも多くあなたに与える。これは私がつるぎと弓とを持ってアモリびとの手から取ったものである」。

ニエケム
(新改訳)

ヨシユア記 24

32 イスラエルの人々が、エジプトから携え上ったヨセフの骨は、むかしヤコブが銀百枚で、シケムの父ハモルの子から買い取ったシケムのうちの地所の一部に葬られた。これはヨセフの子孫の嗣業となった。



ヨシユア: モーセが死んだ後のことば

主からヨシユアへのことば

ヨシユア 1

- 1 主のしもべモーセが死んだ後、主はモーセの従者、ヌンのヨシユアに言われた、
- 2 「私のしもべモーセは死んだ。それゆえ、今あなたと、このすべての民とは、共に立つて、このヨルダンを渡り、私がイスラエルの人々に与える地に行きなさい。
- 3 あなたがたが、足の裏で踏む所はみな、私がモーセに約束したように、あなたがたに与えるであろう。
- 4 あなたがたの領域は、荒野からレバノンに及び、また大川ユーフラテからヘチびとの全地にわたり、日の入る方の大海に達するであろう。
- 5 あなたが生きながらえる日の間、あなたに当ることのできる者は、ひとりもないであろう。私は、モーセと共にいたように、あなたと共にいるであろう。私はあなたを見放すことも、見捨てることもしない。
- 6 強く、また雄々しくあれ。あなたはこの民に、私が彼らに与えると、その先祖たちに誓った地を獲させなければならぬ。
- 7 ただ強く、また雄々しくあつて、私のしもべモーセがあなたに命じた律法をことごとく守って行い、これを離れて右にも左にも曲つてはならない。それはすべてあなたが行くところで、勝利を得るためである。
- 8 この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得るであろう。
- 9 私はあなたに命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主と共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない」。
- 10 そこでヨシユアは民のつかさたちに命じて言った、
- 11 「宿営のなかを巡つて民に命じて言いなさい、『糧食のヨルダンを渡つて、あなたがたの神、主があなたがたに与えて獲させようとする地を獲るために、進み行かなければならないからである』」。

23:6

東の3部族へのことば

1

- 12 ヨシユアはまたルベンびと、ガドびと、およびマナセの半部族に言った、
- 13 「主のしもべモーセがあなたがたに命じて、『あなたがたの神、主はあなたがたのために安息の場所を備え、この地をあなたがたに賜わるであろう』と言つた言葉を記憶しなさい。
- 14 あなたがたの妻子と家畜とは、モーセがあなたがたに与えたヨルダンのこちら側の地にとどまらなければならぬ。しかし、あなたがたのうちの勇士はみな武装して、兄弟たちの先に立つて渡り、これを助けなければならない。
- 15 そして主があなたがたに賜わつたように、あなたがたの兄弟たちにも安息を賜わり、彼らもあなたがたの神、主が賜わる地を獲るようになるならば、あなたがたは、主のしもべモーセから与えられた、ヨルダンのこちら側、日の出の方にある、あなたがたの所有の地に帰つて、それを保つことができるであろう」。
- 16 彼らはヨシユアに答えた、「あなたがわれわれに命じられたことをみな行います。あなたがつかわされる所へは、どこへでも行きます。
- 17 われわれはすべてのことをモーセに聞き従つたように、あなたに聞き従います。ただ、どうぞ、あなたの神、主がモーセとおられたように、あなたと共におられますように。
- 18 だれであつても、あなたの命令にそむき、あなたの命じられる言葉に聞き従わないものがあれば、生かしてはおきません。ただ、強く、また雄々しくあつてくださう」。

安息と地

安息と地

ヨシヤの老人のことば

ヨシヤ 23

1主がイスラエルの周囲の敵を、ことごとく除いて、イスラエルに安息を賜わつてのち、久しくたち、ヨシヤも年が進んで老いた。
2ヨシヤはイスラエルのすべての人、その長老、かしらたち、さばきびと、つかさびとたちを呼び集めて言った、「私は年も進んで老人となった。」

3あなたがたは、すでにあなたがたの神、主が、このもろもろの国びとに行われたすべてのことを見た。あなたがたのために戦われたのは、あなたがたの神、主である。
4見よ、私はヨルダンから、日の入る方、大海までの、このもろもろの残っている国々と、すでに私が滅ぼし去つたすべての国々を、くじをもつて、あなたがたに分け与え、あなたがたの各部落の嗣業とさせた。
5あなたがたの前から、その国民を打ち払い、あなたがたの目の前から追い払われるのは、あなたがたの神、主である。そしてあなたがたの神、主が約束されたように、あなたがたは彼らの地を獲得であろう。

6それゆえ、あなたがたは堅く立って、モーセの律法の書にしるされていることを、ことごとく守つて行わなければならない。それを離れて右にも左にも曲つてはならない。
7あなたがたのうちに残っている、これらの国民と交じつてはならない。彼らの神々の名を唱えてはならない。それをさして誓つてはならない。またそれに仕え、それを拜んではならない。

8ただ、今日までしてきたように、あなたがたの神、主につき従わなければならない。
9主が大なる強き国民を、あなたがたの前から追い払われた。あなたがたには今日まで、立ち向かうことのできる者は、ひとりもなかった。
10あなたがたのひとり、千人を追い払うことができるであろう。あなたがたの神、主が約束されたように、みずからあなたがたのために戦われるからである。

ヨシヤ 1:

89才
老人ヨシヤ
13:1-7
主の約束を24

18: 3:10の天幕

23

11それゆえ、あなたがたは深く慎んで、あなたがたの神、主を愛さなければならない。
12しかし、あなたがたがもしひるがえつて、これらの国民の、生き残つて、あなたがたの中にどまる者どもと親しくなり、これと婚姻し、ゆききするならば、
13あなたがたは、しかと知らなければならぬ。あなたがたの神、主は、もはや、これらの国民をあなたがたの前から、追い払うことをされないのである。彼らは、かえつて、あなたがたのわなとなり、網となり、あなたがたのわきに、むちとなり、あなたがたの目に、とげとなつて、あなたがたはついに、あなたがたの神、主が賜つたこの良い地から、滅びうせるであろう。

12:18:56 主がよい地を52瓦
2:1:45 他神への回心
18: 3:10の天幕

14見よ、今日、私は世の人のみな行く道を行こうとする。あなたがたがみな、心のうちにまた、肝に銘じて知っているように、あなたがたの神、主が、あなたがたについて約束されたもろもろの良いことで、一つも欠けたものはなかった。みなあなたがたに臨んで、一つも欠けたものはなかった。
15しかし、あなたがたの神、主があなたがたについて約束された、もろもろの良いことが、あなたがたに臨んだように、主はまた、もろもろの悪いことをあなたがたに下して、あなたがたを滅ぼし断たれるであろう。
16もし、あなたがたの神、主が命じられたその契約を犯し、行つて他の神々に仕え、それを拜むならば、主はあなたがたにむかつて怒りを発し、あなたがたは、主が賜つた良い地から、すみやかに滅びうせるであろう。

他神々に仕え子ら滅び子

結婚
(YOMAY)
11:4
YOMAY老人
15:11:1-8

ヨシヤの約束
祝福
主の約束
主の約束
ヤリザム

安息地
主、イスラエル
vs
滅び
神、他の国々

主が戦う 一國と結婚
神々に仕え子

の311
神々に仕え子なら
エバニル

申32:30
2:1:44-45
神々結婚

15:11:9-10

